CAT2020 運用開始以降は、

ファイル ⇒ データセット

レコード ⇒ データ

と読み替えてください。

# 1節 図書書誌レコードの記述

- 1項 記述ブロック
- 2項 コードブロック
- 3項 リンクブロック
- 4項 主題ブロック
- 5項 その他のデータ要素
- 6項 書誌単位の考え方と対応方法
- フ項 まとめ
- 8項 ケイズ

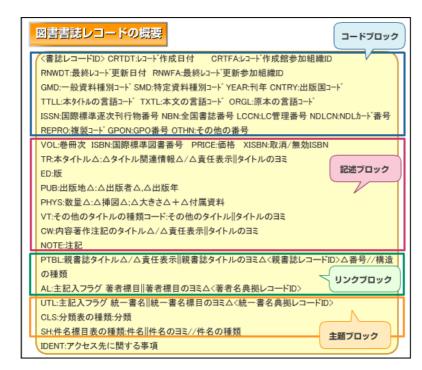
#### 【学習目標】

図書書誌レコードの各ブロックのフィールドに、何を記述するかを理解する。 それぞれのブロックの特徴と機能を述べることができる。

登録の際に適切なマニュアル等を参照できる。

※図書書誌レコードについては、「目録情報の基準、図書編」第2章 書誌レコードについて を 復習しましょう。

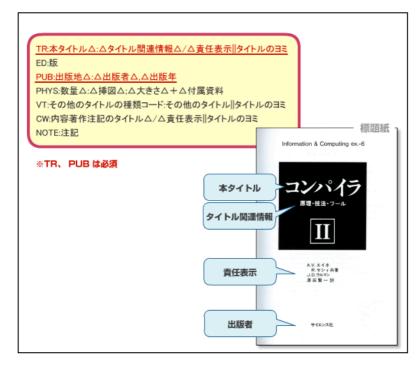
# 1項 記述ブロック



図書書誌レコードの概要について説明します。

図書書誌レコードは、4 ブロックからなります。各ブロックは、複数のフィールドから構成されています。

そのため、「書誌レコードを作成する」とは、登録対象資料の情報を、フィールドに記述していくことでもあります。ここでは、書誌レコードの新規作成を例に、情報源の見方及びレコードの記述方法について説明を行います。



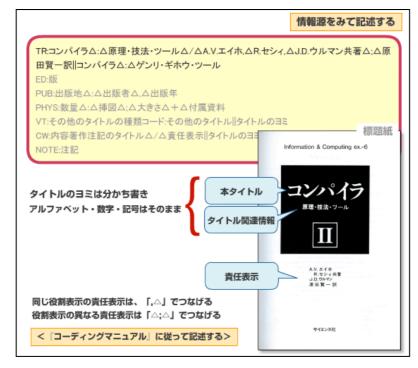
記述ブロックです。

タイトル、責任表示、出版事項など、書誌レコードのメインとなる情報が含まれています。

最初に、情報源の確認をしま す。これは、標題紙で、和図 書では最も重要な情報源で す。

この標題紙からは、本タイトル、タイトル関連情報、責任表示、出版者がわかります。 書誌登録の際には、情報源に表示されている情報が何であるかを適切に理解することが大切です。

なお、タイトルに関する事項 TR と、出版事項 PUB とは、 必須フィールドです。注意し ましょう。

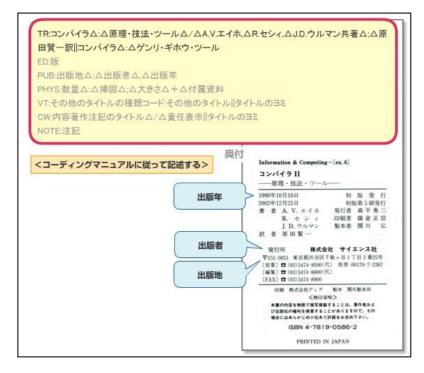


標題紙を見ながら、書誌レコードに記述していきましょう。

TRに、本タイトル(コンパイラ)、タイトル関連情報(原理・技法・ツール)、責任表示(3人の共著者及び訳者)を、区切り記号を用いて記述していきます。

タイトルのヨミには分ち書き を行うことや、責任表示が複 数いる場合の区切り記号等に 注意してください。

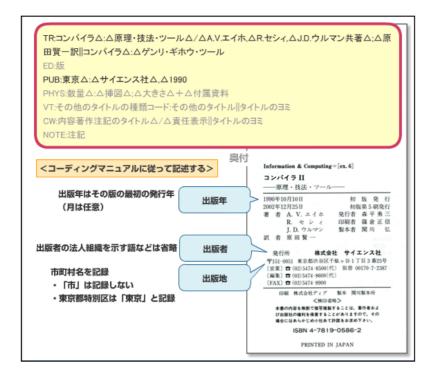
その他、具体的記述方法は適 宜『コーディングマニュアル』 を参照しましょう。



次に、奥付を見てみましょう。 奥付には、書誌情報が整理された形で記載されていることが多く、標題紙と並ぶ重要な情報源です。

奥付は、出版事項の確認に有 効です。この例では、出版年、 出版者、出版地が確認できま す。

出版事項を奥付から確認できたら、それを『コーディングマニュアル』に従って PUBに記述します。

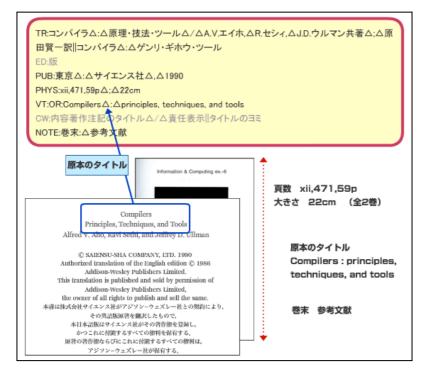


まずは、出版地です。東京都 渋谷区ですので、「東京」にな ります。

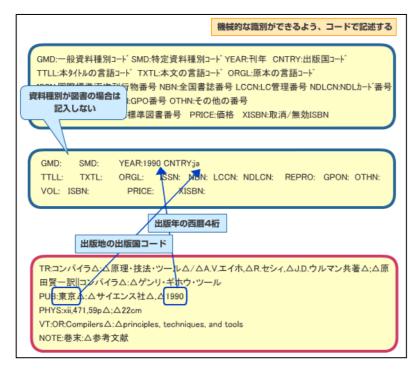
次に出版者です。「株式会社サイエンス社」とありますが、 法人組織を示す語等は省略するため、「サイエンス社」となります。

そして、出版年です。初版の 出版年月日が確認できますの で「1990」となります。なお、 月の記述は任意です。

このようにして採用した記述 要素を、一つ一つレコードに 記述します。



#### 2項 コードブロック



他にも記述ブロックには、大きさやページ数といった数量に関する情報や、その他のタイトル、注記などを記録します。

数量に関する情報 PHYS には、大きさやページ数を単位と共に記録します。

この資料には原本のタイトル が表示されていますので、そ の他のタイトル VT に対応する タイトルの 種類 コード (OR) と共に記録します。

注記 NOTE は、必要に応じて 記録します。この例では、巻 末の参考文献について書いて います。

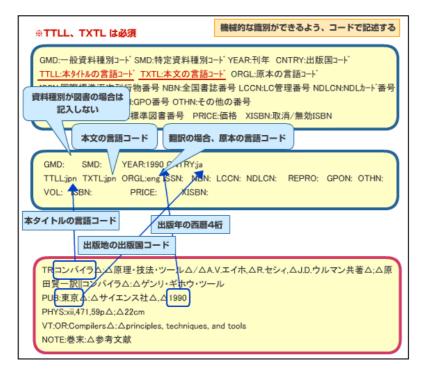
以上が、記述ブロックの主な 内容です。

次に、コードブロックです。 コードブロックでは、機械的 な識別ができるよう、内容に 対応するコードで記述する形 をとっています。

主なフィールドについて見ていきましょう。

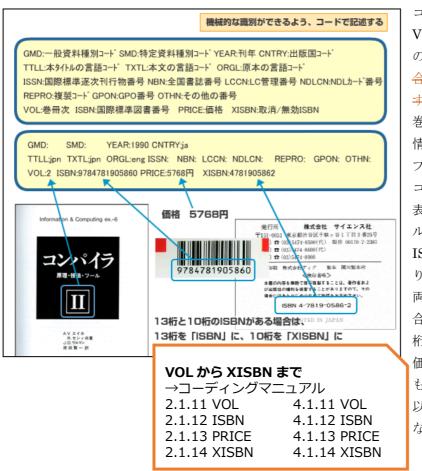
資料種別に関するコード GMDとSMDは、図書資料の 場合記入しません。

刊年 YEAR は、PUB の出版 年をもとに、出版国コード CNTRY は、PUB の出版地の 国のコードを記録します。



本タイトルの言語コード TTLLは、TRをもとに記録します。本文の言語コード TXTL、原本の言語コード ORGLは、資料全体から判断 し記録します。 TTLL と TXTL は記述が必須の項目で す。

このように、コードブロック のフィールドには、記述ブロ ック内のフィールドと対応す るものがいくつかあります。



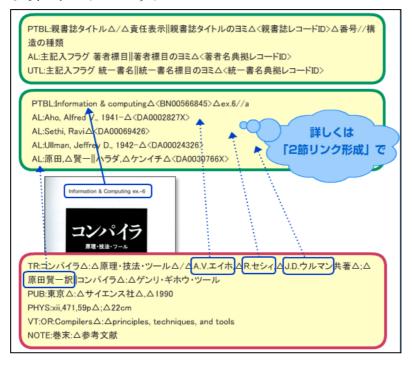
コードブロックの続きです。 VOLから XISBN までが1つ のグループです。<del>繰り返す場</del> 合は、グループ単位になりま す。

巻冊次 VOL には、巻冊次の情報を記録します。「コード」ブロック内で、唯一、特定のコードではなく、資料にある表記をもとに記述するフィールドです。

ISBN、XISBN は、できる限り記録します。13 桁と10 桁両方の ISBN が確認できる場合には、13 桁を ISBN に、10 桁を XISBN に記録します。 価格 PRICE は、常に最新のものを記録します。

以上が、コードブロックの主 な内容です。

# 3項 リンクブロック



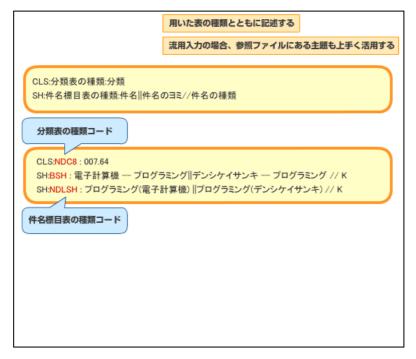
次にリンクブロックです。

その名の通り、書誌レコード と他のレコードとの間のリン ク関係を形成・記録する部分 です。

書誌構造リンク PTBL、著者 名リンク AL、統一書名リンク UTL があります。

詳しくは、「2節リンク形成」 で説明します。

# 4項 主題ブロック



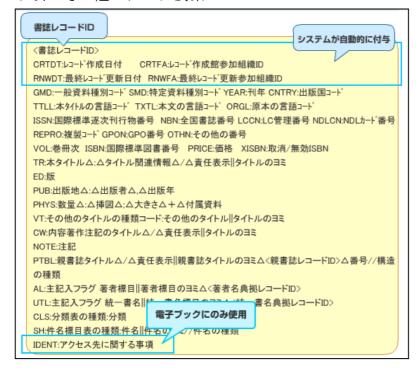
次に主題ブロックです。

主題に関する情報を記録する 部分です。

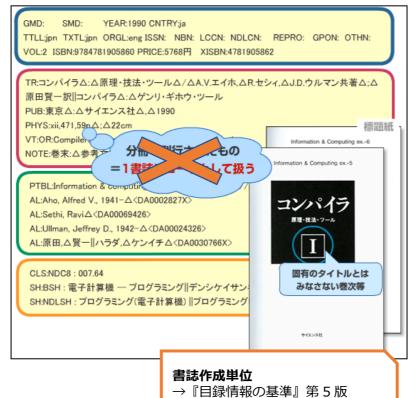
ここでは、分類や件名そのも のだけではなく、用いた件名 標目表または分類表の種類と 共に記述します。

参照ファイルからの流用入力 の場合には、参照ファイルに あるものを上手く活用してく ださい。

#### 5項 その他のデータ要素



### 6項 書誌単位の考え方と対応方法



その他のデータ要素について 説明します。

書誌レコードにはこれまで説明したフィールド以外に、書誌レコード ID、レコードの作成・更新に関する情報があります。

これらはシステムが自動的に 付与します。

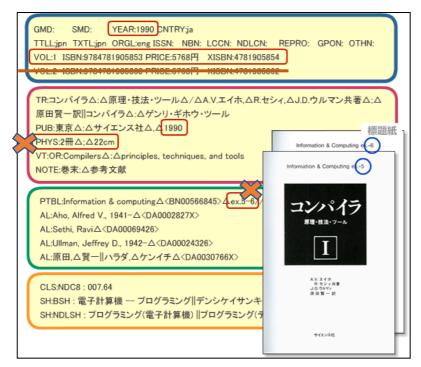
また、IDENTは、アクセス先に関する事項を記録します。 資料に関する URL を記録す るフィールドです。

現在のところ、電子ブックに 関する URL のみを記録する フィールドとなっています。 それ以外の資料の場合には、 使用できませんので、注意し てください。

これまで見てきた「コンパイラ」書誌レコードを例に、類似の資料を受入れた場合の書誌単位の考え方と対応方法について説明します。

まず最初の例です。情報源は「コンパイラ I」のものです。この「I」は、固有のタイトルとはみなさない巻次等にあたります。物理的には、I と II とは異なる別の本ですが、書誌的には「コンパイラ」という固有のタイトルを持つ同じ資料が、分冊で刊行されたもの、という解釈になります。したがって、I と II とは書誌単位としては同じ、つまり、1書誌レコードとして扱うことになります。

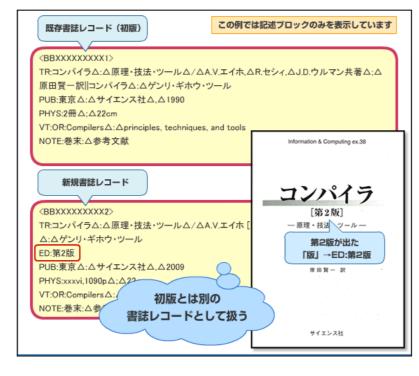
4.2.2 図書書誌データの作成単位



具体的には、IIの書誌レコー ドに、Iの情報を追加します。 例えば、Iに関する VOL グル ープの追加、PHYS の数量の 修正等です。

出版年の修正が必要なことも ありますが、I、II とも 1990 年刊行のため修正していませ

親書誌に対する番号付けも追加が必要な場合があります。 具体的には、IとIIの書誌レコードは別に作成し、それぞれのページ数、出版年、親書誌に対する番号付けを各データに記入します。



次に、版違いの資料の場合を 見てみましょう。

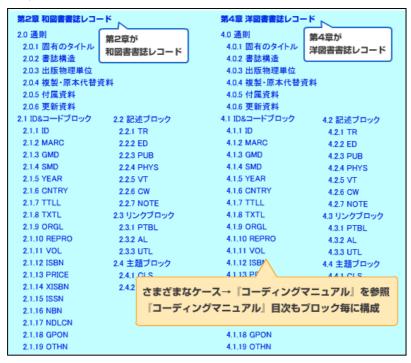
情報源は、「コンパイラ」第2版のものです。

第2版が出たとなると、初版 の書誌レコードの版表示 ED を、そのまま「第2版」に書 き換えてしまいそうになりま すが、それは大変な間違いで す。

版の違いは、新規書誌作成の 根拠になりますので、第2版 については、初版とは別の書 誌レコードとして扱う必要が あります。

書誌単位については、本教材 「目録情報の基準.図書編」 を参照してください。

# 7項 まとめ



図書書誌レコードの登録について見てきました。本節の最後に、『コーディングマニュアル』について紹介します。

目次を見ると、『コーディングマニュアル』の内容が、ブロック毎に構成されていることが分かります。

第 2 章が和図書書誌レコード、第 4 章が洋図書書誌レコードについてです。

ここで取りあげたのは書誌登録の一例です。実際の業務においては、さまざまなケースがありますので、『コーディングマニュアル』をこまめに参照するようにしましょう。



たとえば和図書書誌レコード の2.2.2EDには図のような説 明が載っています。

入力レベルは要注意です。フィールド全体と、記述要素と で入力レベルが設定されてい ます。

版に関する事項は、入力レベルが「必須 2」ですが、それは「あれば必ず入力する」ということを意味します。

また、繰り返し数「1」とは、 そのフィールドは 1 回のみ で、繰り返し不可であるとの 意味です。

その他、『コーディングマニュ アル』では、フィールドの記 述文法、データ要素の情報源 などや、データの記入例など が示されています。

# 2節 リンク形成

1項 所蔵リンク

2項 書誌構造リンク

3項 著者名リンク

4項 統一書名リンク

5項 ケイズ

#### 【学習目標】

図書書誌登録におけるリンク形成を具体的に理解する。 リンクの機能を述べることができる。

**※リンク形成については、「図書登録総論」2節 リンク形成 を復習しましょう。** 

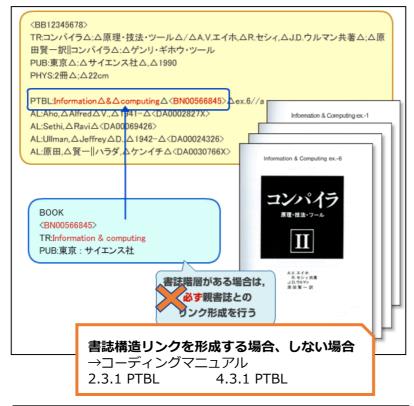
# 1項 所蔵リンク

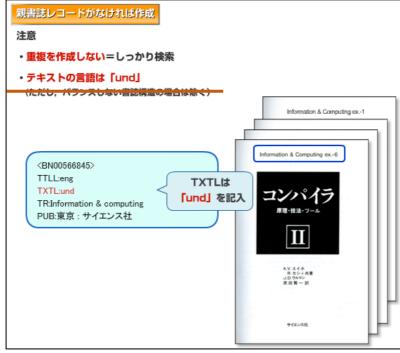
```
<BB12345678>
        SMD:
GMD:
                 YEAR:1990 CNTRY:ia
TTLL:jpn ORGL:eng ISSN: NBN: LCCN: NDLCN: REPRO: GPON: OTHN:
VOL:1 ISBN:9784781905853 PRICE:5768円 XISBN:4781905854
VOL:2 ISBN: 784781905860 PRICE:5768円 XISBN:4781905862
TR:コンパイラ\Delta: \triangle原理・技法・ツール\Delta/\DeltaA.V.エイホ,\DeltaR.セシィ,\DeltaJ.D.ウルマン共著\Delta: \Delta原
所蔵登録=所蔵レコードとのリンク形成
PUB:果京△:△サイエンス社△,△1990
PHYS:2∰∆;∆22cm
VT:OR:Compilers △: Aprinciples, △techniques, △and △tools
NOTE:巻末:△参考文献
\label{eq:ptbl:lnformation} PTBL: Information \triangle \& \Delta computing \triangle < BN00566845 > \triangle ex. 5-6//a \\ AL: Aho, \triangle Alfred \triangle V., \triangle 1941 - \triangle < DA0002827X >
AL:Sethi, △Ravi △<DA00069426>
AL:Ullman, △Jeffrey △D., △1942-△<DA00024326>
AL:原田, △賢一||ハラダ, △ケンイチ△<DA0030766X>
CLS:NDC8:007.64
SH:BSH:電子計算機 ー プログマミング||デンシケイサンキ ー プログラ
                                                               必ず所蔵登録を行う
SH:NDLSH:プログラミング(電子計算機) ||プログラミング(デンシケイサ)
                           BHOLD
                            <CD123456789> CRTDT: RNWDT:
                           BID:BB12345678 FANO: LIBABL:
                           LOC:図書
                            VOL:1 CLN:007.64||Aho-1 RGTN:1234567
                           VOL:2 CLN:007.64||Aho-2 RGTN:1234568
```

まずは「所蔵リンク」です。 通常「所蔵登録」と呼ばれて います。

所蔵登録を行うと、所蔵レコードの BID に自動的に書誌レコード ID が転記されます。これが所蔵リンク形成です。 NACSIS-CATでは、リンクなしの書誌レコードの存在は認められていませんので、新たに子書誌レコードを登録する場合には、必ず所蔵登録を行います。

# 2項 書誌構造リンク





次に「書誌構造リンク」を説明します。

書誌構造については、『目録情報の基準』を参照ください。 情報源から「コンパイラ」という資料は、"Information & computing"というシリーズの1冊であることが分かります。

このような場合、親書誌と子書誌の2階層で表現し、<del>必ずリンク形成を行いますリンク形成を行いますリンク形成することができます。シ</del>リーズに関する番号があれば、それを記録します。

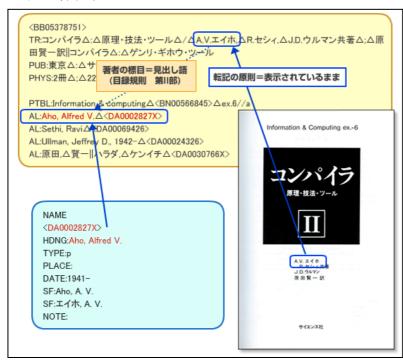
リンク形成をすると、子書誌 の PTBL に、親書誌レコード の TR とレコード ID とが転 記されます。

リンクすべき親書誌レコードが、まだ NACSIS-CAT に無い場合には、親書誌レコードの新規作成を行います。この時、重複レコードを作成しないためには、しっかり検索をすることが重要です。

親書誌レコードの新規作成方法は、基本的には子書誌レコードと同じですが、他の親書誌と区別ができる程度の記述があれば十分なため、必須フィールドの記述のみでも可能です。

また、親書誌レコードでは、 テキストの言語が決められて います。<del>バランスしない書誌</del> <del>構造の場合を除き、</del>TXTL に は「und」を記録しますので、 注意してください。

# 3項 著者名リンク

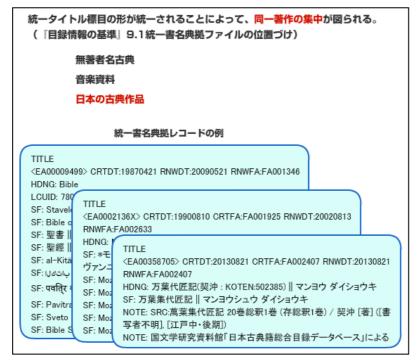


次に「著者名リンク」を説明 します。

書誌作成の際に、ALの記述から該当する著者名典拠レコードを検索し、同定できたレコードに対してリンクを確定します。

その結果、書誌レコードのALには、著者名典拠レコードのレコードIDと統一標目形(見出し語)とが転記されます。 TRにある責任表示の情報は、転記の原則により情報源上での表示に影響されますので、著者名リンクを形成することで、同一著者等の書誌レコードの管理が可能になります。

#### 4項 統一書名リンク



最後に「統一書名リンク」を 説明します。

統一タイトル標目の形が統一 されることによって、同一の 著作を同じものであると把握 することが可能になります。 無著者名古典、音楽資料、日 本の古典作品が、統一書名リ ンクの対象になります。

詳しくは、本教材「目録情報 の基準.図書編」を参照くだ さい。

# 3節 書誌登録の方法と注意点

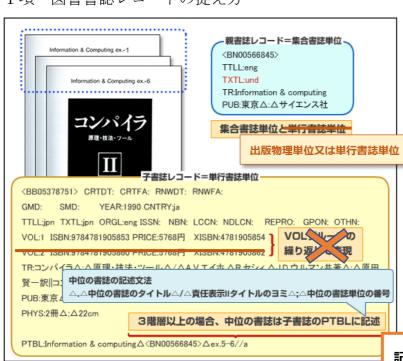
- 1項 図書書誌レコードの捉え方
- 2項 参照ファイルからの流用入力
- 3項 総合目録データベースからの流用入力
- 4項 書誌レコードの削除
- 5項 書誌修正指針
- <del>S項 クイズ</del>

#### 【学習目標】

図書書誌登録において注意すべき点を述べることができる。

※書誌登録の方法と注意点については、「図書登録総論」1節 2項登録のバターンと、3項具体的な 注意点 を復習しましょう。

# 1項 図書書誌レコードの捉え方



まずは、レコードの捉え方についてです。

集合書誌単位とは、親書誌レコードのことです。一部の例外を除き、TXTLには「und」を入力するのが特徴です。

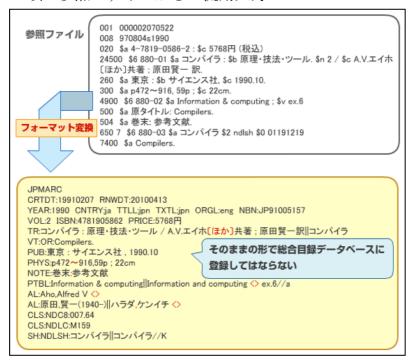
単行書誌単位とは、固有のタイト ル毎に作成されるレコードのこ とです。VOLを繰返す出版物理 単位を持つ書誌レコードも、単行 書誌単位に含まれます。

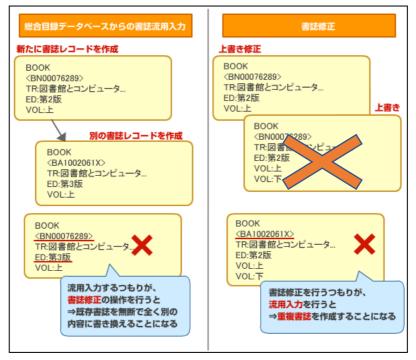
その他、親書誌・子書誌どちらに も該当しない、中位の書誌は、子 書誌レコードの PTBL の中に記 述します。

#### 記述対象のとらえ方

→『目録情報の基準』第5版 4.2.1 解説(書誌構造)

#### 2項 参照ファイルからの流用入力





次に、流用入力について説明します。

書誌登録の方法には、新規入力以外にも、参照ファイルにある同一または類似のレコードをもとにした流用入力があります。

参照ファイルとは、国内外の書誌 作成機関の書誌データを、 NACSIS-CATのフォーマットに あわせて変換したものです。

この参照ファイルを用いると、簡単な操作で書誌レコードの新規 作成が可能ですが、必ず、現物資料を元にすべての記述について確認し、必要な修正・削除等を行った上で登録してください。

そのままの形で NACSIS-CAT へ登録することは、間違いのもとですので、注意してください。

総合目録データベースからの流 用入力と、書誌修正の違いについ て説明します。

流用入力とは、既存のレコードを もとに、新規に別のレコードを作 成することです。

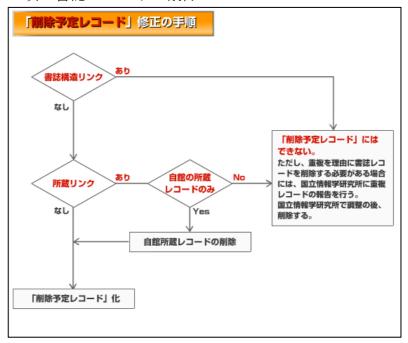
修正とは、既存のレコードに何ら かの変更を行い、上書きすること です。

例えば、版違いの書誌レコードを 登録したい場合は、流用入力の操 作になります。

上巻の書誌レコードに下巻の情報を追加したい場合は、書誌修正の操作になります。

この違いを間違えると、書誌レコードを別の内容に書き換えたり、 重複書誌を作成することになり ますので、十分に気を付けてくだ さい。

### 4項 書誌レコードの削除



書誌レコードは共有レコードなので、削除することはできません。もし、重複レコードを作成してしまった場合などは、次のような手順で「削除予定レコード」にします。

まず、書誌構造リンクがないこと、すなわち、リンクする子書誌 レコードがないことを確認しま す。書誌構造リンクがある場合に は、「削除予定レコード」に修正 することはできません。

次に、リンクする所蔵レコードの 有無を確認します。他の参加館の 所蔵レコードがあれば、「削除予 定レコード」に修正することはで きません。

修正できない場合には、国立情報 学研究所に報告を行います。

### 「削除予定レコード」化=定型の記述内容に修正すること

フィールド	データ	備考
TTLL	und	言語コード
TXTL	und	言語コード
TRD(TR)	削除予定レコード	洋図書の場合でも漢字で記入する
PUBP(PUB)	削除	洋図書の場合でも漢字で記入する
その他のフィールド		データは一切記録しない

典拠レコードの「削除予定レコード」化 → 『目録システム利用マニュアル』参照

「削除予定レコード」化とは、そのレコードを、表のような定型の記述内容に修正することです。 TTLLと TXTLは「und」、TRには「削除予定レコード」、PUBには「削除」と記入します。この必須の4項目以外のフィールドには、一切記録しません。 洋図書の場合でも同様です。 典拠レコードも共有レコードですので、レコードを削除したい場合には、同様の修正が必要です。

「削除予定レコード」化について

#### 5項 書誌修正指針



最後に、書誌を修正する際の指針 について説明します。

原則は、規定の規則等に照らして 誤りではない場合は、最初に作成 されたレコードを維持すること と、データが正確かつ豊富になる ように修正を行うことの 2 点で す。

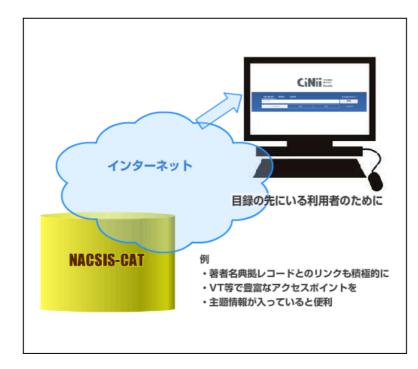
更に、誤った修正を行わないため に、修正内容ごとに必要な手順が 示されています。それが表にある 「修正事項一覧」です。

発見館で修正可能か、あるいは事前に作成館との協議が必要か、そして修正後の所蔵館への連絡は必要か、この3点です。

詳しくは『コーディングマニュア ル』 21 章を参照してください。

#### 図書書誌修正指針

→コーディングマニュアル21.0 図書書誌データ修正指針



皆さんが作成する書誌レコード(目録情報)は、インターネットを通して、広く世界中に公開されています。

知識があれば、間違いのない 書誌レコードを作成すること が可能ですが、それだけでは なく、目録の先にいる利用者 のための記述への意識も重要 です。

例えば、積極的なリンク形成や、適切な VT、主題等の追加などです。

レコードの作成の際には、正 確なだけではなく豊かな内容 になるよう心掛けてくださ い。

以上で、「図書書誌登録」の学 習は、すべて終了です。